

12/25(日) 発足集会と記念シンポジウム いのちの差別を許さない！ハヤト裁判を支援する会

とき：2016年12月25日(日) 12:00～16:00
12:00～ 発足集会 13:00～ 記念シンポジウム
ところ：イーブルなごや 3階大研修室
資料代：500円



本年7月の相模原市の施設・津久井やまゆり園での事件は、被害者の数の多さ・凄惨さもさることながら、加害者の「言い分」に、私たちは戦慄を覚えました。

「障害者は不幸しかもたらさない」「事件を起こした自分に社会が賛同するはずだ」という加害者の言い分は、密かに、しかし根深く社会に浸透しているのではないか…。障害者に対するいのちの差別が厳然と存在しています。

「いのちの差別を許さない！」と訴えた遺族の裁判を支援する「ハヤト裁判を支援する会」の発足集会・記念シンポジウムに是非ご参加下さい。

記念講演：いのちの差別を許さない！ 「やまゆり園事件」を超えていくために

講師：野澤 和弘さん（毎日新聞論説委員）



野澤 和弘（のざわかずひろ）氏プロフィール

1959年静岡県生まれ。1983年毎日新聞入社、津支局、中部報道部(名古屋)を経て92年に東京社会部へ。いじめ、引きこもり、薬害エイズ、児童虐待、障害者虐待などに取り組む。社会部副部長、夕刊編集部長などを経て2009年から論説委員。元千葉県障害者差別をなくす研究会座長、社会保障審議会障害者部会委員、内閣府障害者政策委員会委員など。主な著書に「あの夜、君が泣いたわけ」(中央法規)、「障害者のリアル×東大生のリアル」「条例のある街」(ぶどう社)

パネルディスカッション

伊藤啓子さん(晃平くん「いのちの差別」裁判元原告)、梅尾朱美さん(愛知視覚障害者協議会会長、梅尾裁判(点字裁判)元原告、H26年度愛知県弁護士会人権賞受賞者)、鶴田明日香さん(ハヤト裁判原告)、中谷雄二さん(弁護士、ハヤト裁判代理人、晃平くん裁判代理人、梅尾裁判アドバイザーを務める)、野澤和弘さん

<ハヤト裁判>

鶴田早亨(つるたはやと)さんは重度の知的障害・自閉症・てんかんがあり、A市の入所施設Hに2006年から入所していました。2013年3月22日、施設から裸足で外へ抜け出し、約1キロ離れたスーパーで大量の食べ物を喉に詰ませ窒息し、搬送先の病院で死亡しました。28歳でした。この事件の後、施設H側が提示した損害賠償額は、通常人のたった4分の1でした。遺族は、2014年8月に名古屋地方裁判所に提訴し、過失の有無と損害賠償額の2点で争っています。

主催：ハヤト裁判を支援する会準備会

連絡先：090-7693-1972(伊藤)

ウェブ：<http://hayato-sosho.link/>

【振込口座】

記号番号 00800-5-216839

加入者名 ハヤト裁判を支援する会